



参考様式集

様式 1	虐待相談・通告受付票	122
様式 2	児童通告書	124
様式 3	緊急度アセスメントシート	125
様式 4	在宅支援アセスメントシート	126
様式 5	児童記録票	127
様式 6	経過記録	128
様式 7	児童家庭相談受理台帳	129
様式 8	進行管理台帳	130
様式 9	進行管理票、進行管理シート	131
様式 10	訪問連絡票	134
様式 11	個別ケース検討会議 会議録	135
様式 12	児童家庭相談連絡書	136
様式 13	送致書	137
様式 14	ケース移管通知書	139
様式 15	要保護児童等の援助依頼書	140
様式 16	児童相談所の対応について（通知）	141
様式 17	保育所、子育て短期支援事業、養育支援訪問事業等の利用通知書...	142
様式 18	情報提供等協力依頼書	143

虐待相談・通告受付票									
受理年月日		平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分							
子 ど も	フリガナ 氏 名					平成 年 月 日生 (歳) 男・女 所属 () 続柄 ()			
						平成 年 月 日生 (歳) 男・女 所属 () 続柄 ()			
保 護 者 等	氏 名	続柄 ()				続柄 ()			
	職 業								
	年 齢	年 月 日生 (歳)				年 月 日生 (歳)			
	住 所					電 話			
	携帯電話								
虐 待 内 容		誰から							
		いつから							
		頻度は							
		どんなふうに							
虐 待 の 種 類		(主◎ 従○ : 身体的 / 性的 / ネグレクト / 心理的)							
子どもの状況		・現在の居場所： ・保育所等通園の状況：							
家 庭 の 状 況		・家庭内の協力者 無・有 () ・家族以外の協力者 無・有 () ・ぎょうだいの有無 無・有 () ・DV被害等 無・有 ()							
情報源と 保護者の了解		・通告者は 実際に目撃している・悲鳴や音等を聞いて推測した ・通告者は 関係者 () から聞いた ・保護者は この通告を (承知・拒否・知らせていない)							
通 告 者	氏 名								
	住 所	電 話							
	関 係	家族・近隣知人・市福祉事務所・医療機関・警察・学校・ ()							
	通告意図	子どもの保護 ・ 調査 ・ 相談							
	調査協力	調査協力 (諾 ・ 否) 当所からの連絡 (諾 ・ 否)							

(裏面)

○ はじめのあいさつ

「ご連絡ありがとうございます。」「どのようなことがあったのか、大まかに教えていただいた後、改めて詳細を伺わせてください」

虐待相談・通告受付票

受理年月日		平成 年 月 日 () 午前・午後 時 分
子ども	フリガナ氏名	「では、改めまして…」
		平成 年 月 日生 (歳) 「この子どもの保護者を見たことはありますか。ご存知であれば、名前・年齢・容姿を教えてください」 「この子どもの住所や家の場所、電話番号などはわかりますか」→住所やわからない場合は家の場所を詳しく聞く。
保護者等	氏名	男・女 所属 () 続柄 ()
	職業	「心配している子どもの名前・年齢・性別について、わかる範囲で教えてください」 「子の住んでいる住所がわからなければ、市町村を教えてください」 「その家庭には、他に子どもはいますか。いましたらそのお子さんについても、わかる範囲で教えてください」
	年齢	
	住所	
	携帯電話	
虐待内容	誰から	「では、心配されている状況を、詳しく聞かせてください」 ● 虐待者の特定 「誰がそうしているのでしょうか」「お子さんとはどのような関係ですか」「どちらの保護者が、そうしているのでしょうか」 「その保護者（虐待者）はどんな人ですか」
	いつから	● 発生時期の把握 「いつ（何日前／何時頃）の出来事ですか」
	頻度は	● 発生傾向の把握 「（『毎日』とのことですが、一番最近は、いつ（何日前／何時頃）のことですか」「それ以前にも同様なことがありましたか」「それはいつ（何日前／何時頃）ですか」「その前はいつ（何日前・何ヶ月前／何時頃）ですか」 「どのくらいの時間、続きますか」
● 重篤度のアセスメント		1. 「その子を見たことはありますか」「その子どもの現在の様子はどうですか」「このような状況について、子どもは何か言っていますか」「（所属からの通告なら）子どもの表現力は年齢相応ですか。学力はクラスの中でどの程度ですか」 2. 「どんなことが起きましたか」（状況に応じ①から⑤の該当項目から質問します）
虐待種別毎の質問です。当てる質問をしましょう	① 安全確認できない	【音・声】 「どんな物音でしたか／どんな内容の怒鳴り声、泣き声でしたか」「声や音、怒鳴ったのは誰が、誰に向かって言っているのでしょうか」「どうはじまって、どう終わりますか」「その声（音）は、どのくらい続きますか」「その声（音）は、今も聞こえていますか」 【所属に来ない】 「いつから登校（登園）していませんか」「登校（登園）しなくなった理由を、子どもは、なんと言っていますか」「保護者からの、『欠席理由』はなんですか」「保育園・幼稚園・学校は、これまでにどのような対応を試みて、どんな反応でしたか」
	② 怪我や傷か心配	「子どもに、気になる痣や怪我はありますか。また以前にもありましたか」「どんな傷ですか（部位／大きさ／形／色）」「今すぐに病院に行ったほうがよさそうですか」「怪我の理由について、子どもや保護者は、どのように説明していますか」
	③ 保護者の行動が心配	「保護者のどのような行動が心配ですか」「子どもへの影響が見られれば具体的に教えてください」「親子関係はどうですか。エピソードがあれば教えてください」
	④ 性的な心配	「性的虐待について、子どもが話した言葉を、そのまま教えてください」
	⑤ ネグレクトの心配	【欠食/不衛生/必要な医療を受けさせない】 「子どもに病気の兆候はありますか」「今すぐ病院に行ったほうがよさそうですか」「健康診断等で把握している、身長/体重の推移を教えてください」「育児方法の不適切な点を教えてください」「経済的な余裕はありますか」「生活保護は受給していますか」 【保護者不在】 「どのくらいの時間、その子どもは放っておかれていますか」「何時から何時まで放っておかれていますか」「保護者はどこにいていると思われますか。また、戻ってくるでしょうか」
虐待の種類	(主◎ 従○ : 身体的 / 性的)	● 安全な情報 「何か家族あるいは子どもと保護者の関係で、良いエピソードはありますか」→必ず聞いてみましょう
子どもの状況	・現在の居場所： ・保育所等通園の状況：	● (48 時間以内に) 安全確認を行う場所の情報 「現在、子どもはどこにいるかわかりますか」「登校（登園）状況は、いかがですか」
家庭の状況	・家庭内の協力者 無・有 () ・家族以外の協力者 無・有 () ・きょうだいの有無 無・有 () ・DV被害等 無・有 ()	「家族の状況についても教えてください」 「家族構成をわかる範囲で教えてください」「子どもと一緒に生活している人はいますか」「他の（虐待者以外の）家族はどんな人ですか」「他の（虐待者以外の）家族は、この状況を改善するために、なにか対応していますか」「（父あるいは母又は父母がいない場合）父あるいは母又は父母どうしているか知っていますか」「この家族に協力してくれる親族や近所の人はいますか」「公的機関等から支援を受けている様子はありますか（機関名）」
情報源と保護者の了解	・通告者は 実際に見撃している・悲鳴や音等を聞いて推測した	「この事実を、誰から、どのように知りましたか」
	・通告者は 関係者 () から聞いた ・保護者は この通告を (承知・拒否・知らせていない)	「児童相談所へ連絡することを、保護者は知っていますか」
通達者	氏名	「いろいろと教えていただきまして、ありがとうございます。場合によっては、聞き逃してしまったことを確認させていただくこともあるかもしれません。できれば、お名前と電話番号を教えてください」
	住所	
	関係	家族・近隣知人・市福祉事務所・医療 (通告者がまだ話していなければ) 「心配している子ども（家庭）とは、どんな関係になりますか」
	通告意図	子どもの保護 ・ 調査 ・ 相談
	調査協力	調査協力 (諾 ・ 否) 当所からの連絡 (諾 ・ 否) 「仮に連絡する場合、都合の悪い時間はありますか」「児童相談所を名乗っても構いませんか」

プラス

● 過去の取り扱い歴〔「欄外」に記載〕

「以前、このような通告をされたことは、ありますか」

「この件を、他の機関に相談したことは、ありますか」

○ お礼の言葉

長い時間協力いただきましてありがとうございました。こちらで対応させていただきま
す。(近隣等へは) 対応の結果はお伝えできませんので、ご理解ください。休日・夜間で
緊急を要する場合等は警察署にご連絡ください。本日はご連絡ありがとうございました。

児 童 通 告 書					
平成 年 月 日					
様					
所属機関 職・氏名					
児童福祉法第 25 条の規定により下記のとおり通告します。					
子 ど も	ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日生 (歳)	
	所 属	学校 年 組 保育所 幼稚園			
	現住所				
	本籍 (国籍)				
保 護 者	ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日生 (歳)	
	職 業		子どもとの続柄		
	現住所	(電話)			
通告理由					
備考					
担当者					
電話					

※ 不明な部分については記載不要

(「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より)

緊急度アセスメントシート

児童氏名 _____

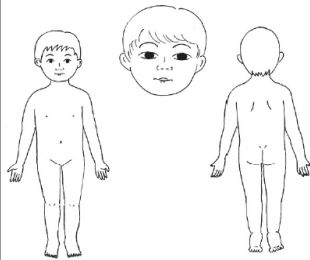
(作成日 _____ 年 _____ 月 _____ 日)

〔作成者 _____〕

①当事者が保護を求めている？	☐ 子ども自身が保護・救済を求めている ☐ 保護者が子どもの保護を求めている ☐	
YES		
NO		
②当事者の訴える状況が差し迫っている？	☐ 確認にはいたらないものの性的虐待の疑いが濃厚 ☐ このままでは「何をするかわからない」「殺してしまいそう」の訴え ☐	YES
YES		緊急度AA 分離を前提とした緊急介入 緊急一時保護を検討
NO		
③すでに重大な結果が生じている？	☐ 性的虐待(性交、性的行為の強要、妊娠、性感染症罹患) ☐ 致命的な外傷、内臓破裂、頭蓋骨折など ☐ ネグレクト(栄養失調、衰弱、脱水症状、治療放棄・拒否) ☐	YES
YES		緊急度AA 分離を前提とした緊急介入 緊急一時保護を検討
NO		
④重大な結果が生ずる可能性が高い？	☐ 乳幼児、多胎児、低出生体重児、虚弱児である ☐ 生命に危険な行為(頭部・顔面打撲、首絞め、シェイキング等) ☐ 性的行為に至らない性的虐待 ☐	
YES		
NO		
⑤繰り返される可能性が高い？	☐ 新旧混在した傷や入院歴がある ☐ 過去の介入歴(通告、一時保護、施設入所、きょうだい虐待) ☐ 保護者に虐待の自覚、認識がない ☐ 保護者が精神的に不安定、判断力の衰弱 ☐	YES
YES		緊急度A 発生・再発防止のための緊急支援 発生前の一時保護を検討
NO		
⑥虐待の影響と思われる症状が子どもに表れている？	☐ 保護者への拒否感、恐れ、おびえ、不安 ☐ 無表情、表情が暗い、過度のスキンシップを求める ☐ 虐待に起因する身体的症状(発育・発達の遅れ、腹痛等) ☐	YES
YES		緊急度B 集中的な支援の実施 集中的な支援場合によっては一時保護を検討
NO		
⑦保護者に虐待につながるリスク要因がある？	☐ 子どもへの拒否的感情、態度(愛情欠如、拒否等) ☐ 精神状態の問題(うつ的、育児ノイローゼ等) ☐ 性格的問題(衝動的、攻撃的、未熟性) ☐ アルコール・薬物等の問題 ☐ 行政等からの援助に拒否的、あるいは改善がみられない ☐ 家族・同居者間での暴力(DV等)、不和 ☐ 日常的に子どもを守る人がいない ☐	YES
YES		緊急度B 集中的な支援の実施 集中的な支援場合によっては一時保護を検討
NO		
⑧虐待発生の可能性のある家庭環境等	☐ 虐待によるのではない子どもの生育上の問題 ☐ 子どもの問題行動(攻撃的、盗み、家出、自傷行為等) ☐ 保護者の生育歴(被虐待歴、愛されなかった思い) ☐ 養育態度や知識の問題(意欲なし、知識不足、期待過剰等) ☐ 家族状況(保護者の死亡、失踪、離婚、妊娠、出産等) ☐	YES
YES		緊急度C 継続的・総合的な支援の実施 継続的・総合的な支援場合によっては一時保護を検討
NO		

*判断に当たっては、各チェック項目を参考にすること。参考にすべき情報がこれ以外にある場合には、空欄に記入すること

*厚生労働省「子ども虐待対応の手引き」(平成21年3月31日 改訂版)の表5-1「一時保護決定に向けてのアセスメントシート」及び図5-2「一時保護に向けてのフローチャート」を参考に作成

在宅支援アセスメント		ケース番号	担当者所属氏名	記入日：平成 年 月 日（初回・ 回目）
2013年度版		家族構成 実父・養父・内縁男性・実母・養母・内縁女性・祖父・祖母・伯父・叔父・伯母・伯母・異父兄弟・異母兄弟		
該当 ○	虐待の種類	1 虐待の程度：該当レベルに○、あてはまる項目を○で囲んでください		
	身体的	レベル 身体的虐待の例		
	ネグレクト	ネグレクト・養育問題の例		
	心理的			
	性的			
該当 ○	子の年齢			
	*0-2歳			
	*3-5歳			
	*6歳以上			
	危険	虐待はないが、発生する可能性が高い		
家族構成 兄弟虐待 有 無 不明		エコマップ（家族とつながる支援状況）		日付 傷の位置
 				
は保護との関連の 高い項目です はい や や 疑い 不明 い い い い 以下、該当項目と思われるものをすべてを○で囲んで下さい。 項目にないものは記入してください。 「養育者」は、家族の中で誰かが該当すれば○。		2 虐待の継続 3 関係機関からの情報 4 虐待歴 5 性的虐待* 6 保護者の被虐待歴 15 身体の状態* 16 精神の状態* 17 日常的世話の欠如 18 問題行動（気になる行動） 19 意志・気持ち* 7 家族問題 8 経済問題 9 生活環境 10 子を守る人なし* 11 精神の状態 12 性格の問題 13 アルコール・薬物* 14 家事・育児能力* 20 子への感情・態度 21-1 虐待自覚なし* 21-2 ネグレクト 21-3 養育意欲 22 養育知識 23 社会的サポート* 24 協力態度なし 25 援助効果なし		
当面の課題		保護者・家族の力 （プラス面・ストレングス）	担当機関	当面の役割分担
支援の目標		子ども・保護者の意見		
個別ケース検討会議開催		①しばらく様子を見る ②必要 1週間以内 2か月以内 （ ）		
開催時期	新規招集機関	連絡先	対応機関と方法	
		緊急時		

児童記録票

H 年 月 日作成〔記入者 〕 H 年 月 日加筆〔記入者 〕

第 回受付	H 年 月 日受理		ケース番号		種別	
子 ど も	ふりがな 氏名	男 女	生年月日等		S・H 年 月 日 () 歳 () ヶ月	
	所属機関	保育所・幼稚園・学校 年 組(担任 先生) ☎				
	本籍地					
	現住所等	☎ ☎				
相 談 者	氏名	(子どもとの関係)				
	連絡先					
	主訴					
家 族 同 居 ・ 縁 故 者	続柄	氏名	生年月日	年齢	就学・就労状況(就労場所・時間) 健康状態 連絡先等	
生活状況					【家族図】	
福祉サービス 利用状況						
その他 特記事項						
関 わ り 機 関	機関名		担当者	電話	援助内容	
統計分類	経路			種類別		処理

(「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より)

経過記録

[illegible]

平成 年度

No. _____

児童家庭相談受理台帳

ケース番号	受理年月日	児 童 名	年 齢	性 別	生 年 月 日	住 所	通告経路	相談種別	処 理	備 考

進行管理台帳

番号	児童氏名	生年月日 年齢	児童の所属	保護者 氏名・住所	相談 受理日	管理記録					
							第1回	第2回	第3回	第4回	備考
						会議日					
						主担当機関					
						状況等					
						会議日					
						主担当機関					
						状況等					
						会議日					
						主担当機関					
						状況等					
						会議日					
						主担当機関					
						状況等					
						会議日					
						主担当機関					
						状況等					
						会議日					
						主担当機関					
						状況等					

※厚生労働省が定める様式であり、この様式を参照の上、適宜項目等付け加えるなどして、市町の実情に合ったものとしてください。

ケース進行管理票

平成 年度 ケース進行管理票 【 . . 現在】

児童記録票 No.		当面の 支援 プラン	安全確認方針 〔記載例〕・毎月保育所へ電話 ・月1回家庭訪問	
氏 名			支援方針 〔記載例〕・月1回の家庭訪問で児童、保護者と面接を継続。 保育所への毎日の登園を働きかける	
生年月日	H 年 月 日生			当面の目標 〔記載例〕・保育所への通園の継続。家庭内の衛生面の改善意 欲を母が持つ
受付年月日	H 年 月 日			
虐待等種別		主な 経過	〔記載例〕 H28.0.0 ××から通報 H28.0.0 ××訪問。〇〇から聴取 H28.0.0 関係機関で対応を協議	
主 訴				
通告者				
地区・住所				
担当者名				
家族構成		支援 機関 の 確認	〔記載例〕 〇〇保育園（モニター）、児童委員（モニター）、市〇〇課 （情報管理と児相への連絡）、市△△課（児童・保護者との面 接） 【主担当機関】市△△課	

アセスメントとプランニング

〇心配していること（これまでの危害、これからの心配）	〇うまくいっていること（家族のプラス面、強み）
	〇支援の目標

年月日	虐待 の 程度	経過・関わりの概要・現況	年月日	虐待 の 程度	経過・関わりの概要・現況
H28/ 00/00	軽度	〔記載例〕 家庭訪問。母と面接。家庭内の衛生面はやや 改善。母は安定している。			

※「虐待の程度」は、「在宅支援アセスメントシート」の「虐待の程度」を記載。（生命、重度、中度、軽度、危惧）

実務者会議用 進行管理シート

会議日： 年 月 日

番号	受理年月日 次回検討日 終了日	児童名 性別 生年月日 年齢 学校等 (ケース番号)	保護者等	虐待等 種 別 ・ 主訴	通告者	地 区	支 援 機 関 ◎主担当機関 ○主たる支援機関	経 過 ・ 現 況 ・ アセスメントの結果等	虐待の 程度	当面の支援プラン ①安全確認方針 ②支援方針 ③当面の目標	今後の 対応
1										①安全確認方針 ②支援方針 ③当面の目標	
2										①安全確認方針 ②支援方針 ③当面の目標	

※ 「ケース番号」は受付時に取得した番号 (○—□) ○は年度、□は年ごとに受理した順につける。支援終了まで固有の番号で管理。

※ 「支援機関」は、児童相談所や児童福祉課（市町村の担当課）、保健センター、学校等ケースに関わる機関を記載し、主担当機関には◎、主たる支援機関には○印をつける等分かりやすくする。

※ 「経過・現況・アセスメント結果等」には、簡潔に経過及び直近の状況（特に前回検討時から変化のあった事項等）、アセスメント結果等を記入

※ 「虐待の程度」には、「在宅支援アセスメントシート」の「虐待の程度」を記載。（生命、重度、中度、軽度、危惧）

※ 「今後の対応」は、当日ケース検討後記入。例えば、「個別支援会議を開催」「当面現在の支援方針に添い対応」等。併せて、次回検討時期として、次に検討する実務者会議の時期を決定し記載（「次回」、「○○月」、「2 回後」等）

（「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より。一部改編）

〔記載例〕

様式9-2

実務者会議用 進行管理シート

会議日： 年 月 日

番号	受理年月日 次回検討日 終了日	児童名 性別 生年月日 年齢 学校等 (ケース番号)	保護者等	虐待等 種 別 ・ 主訴	通告者	地 区	支 援 機 関 ◎主担当機関 ○主たる支援機関	経 過 ・ 現 況 ・ アセスメントの結果 等	虐待の 程度	当面の支援プラン ①安全確認方針 ②支援方針 ③当面の目標	今後の 対応
1	H26.△.△ (26-)	愛媛花子 女 H23.〇.〇 4歳 (26-)	愛媛丸子 (実母)	ネグレクト 子どもの世話をしない。母は精神的に波あり	保育所	甲乙	○ ◎子育て支援課 福祉事務所 ○ 児童相談所 〇〇保育園	H26.4 保育所から通告。子どもの世話をせず、体 が不潔。保育園に連れてこない。 H26.4 家庭訪問にて子どもを確認。母に保育園へ 連れて行くよう指導。以降1～2か月に1回程度訪問 して状況確認。 H27.5 家庭訪問。子どもは毎日入浴していないよう で、少し匂いがある。屋内の不潔さは変わらず。保 育所への登園はできている。	軽度	①安全確認方針—毎月保育所にTEL ②支援方針—1～2か月に1回の家庭訪問を 継続。養育支援訪問事業の導入 ③当面の目標—保育所への通園の継続。 家庭内の衛生面の改善意識を母が持つ	
2										①安全確認方針 ②支援方針 ③当面の目標	

※ 「ケース番号」は受付時に取得した番号 (○—□) ○は年度、□は年ごとに受理した順につける。支援終了まで固有の番号で管理。

※ 「支援機関」は、児童相談所や児童福祉課（市町の担当課）、保健センター、学校等ケースに関わる機関を記載し、主担当機関には◎、主たる支援機関には○印をつける等分かりやすくする。

※ 「経過・現況・アセスメント結果等」には、簡潔に経過及び直近の状況（特に前回検討時から変化のあった事項等）、アセスメント結果等を記入

※ 「虐待の程度」には、「在宅支援アセスメントシート」の「虐待の程度」を記載。（生命、重度、中度、軽度、危惧）

※ 「今後の対応」は、当日ケース検討後記入。例えば、「個別支援会議を開催」「当面現在の支援方針に添い対応」等。併せて、次回検討時期として、次に検討する実務者会議の時期を決定し記載（「次回」、「〇〇月」、「2 回後」等）

（「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より。一部改編）

訪問のご連絡

様

○訪問した日時 平成 年 月 日（ ） 時 分

○訪問させていただいた理由

○お願い

○担当連絡先

連絡先
〒

個別ケース検討会議 会議録

1 開催日時 年 月 日 () 時から 時まで

2 開催場所

3 出席者

4 ケース番号、氏名 (新規 継続 再開)

6 会議のテーマ

7 会議で出た主な問題点、このケースのリスク

8 このケースのうまくいっているところ

9 安全についての評価（0－10のスケール。0は家庭からの分離必要、10はケース終結できるほど安全。全員が一致する必要はないが、各人に聞く）

10 今後に向けての計画

①短期目標

②長期目標

11 とりあえずの次のステップとして考えられること

12 具体的な支援機関と関わり方について

機関名	現在の関わり方	今後の関わり方

*いつ頃までに何をするのかも明記

13 次回会議の際に再度の確認事項等

14 次回会議開催予定

番 号
平成 年 月 日

市 町 村 長 殿

市 町 村 長 印

児 童 家 庭 相 談 連 絡 書

下記により児童家庭相談ケースを連絡します。相談援助について、よろしくお願いします。

記

児 童 名	(男 ・ 女)	年 齢	歳				
家族構成	<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>						
連 絡 理 由	① 貴管内への転出 新住所： (転出年月日：) 旧住所：						
	② その他 理 由：						
情報提供に 対する 家族の同意	・ 同意有り	同意を得ていますが、当家族の心情を十分配慮の上、支援いただきますよう、お願いします。					
	・ 同意無し	<u>同意を得ていませんので</u> 、当家族の心情を十分配慮の上、 <u>慎重に対応されますよう</u> 、お願いします。					
ケース概要							
添 付 資 料							
担 当 者 (所属・連絡先)	課	電話	担当：				

発 第 号
平成 年 月 日

愛媛県福祉総合支援センター所長
愛媛県東予子ども・女性支援センター所長 様
愛媛県南予子ども・女性支援センター所長

市 町 村 長 

送 致 書

下記の理由により、ケースを送致します。

記

子ども	氏 名	(男・女)		
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (歳)		
	保育所・学校等 利用状況	保育所・学校等名 学 年 担 任		
	現 住 所	〒 電話 ()		
保護者	氏 名		続 柄	
	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (歳)		
	職 業			
	現 住 所	〒 電話 ()		

送 致 理 由	
送 致 に 当 た っ て の 意 見	
ケ ー ス 概 要	
対 応 経 過	
ケース担当者	所 属 氏 名 電 話 () 内 線
添 付 資 料	

第 号
平成 年 月 日

□ □ 市 町 長 様

愛媛県 福祉総合支援センター所長
東予子ども・女性支援センター所長
南予子ども・女性支援センター所長

ケース移管通知書

下記の理由により、市町に主担当機関を移す決定をしたので、通知します。

記

子 ど も	ふりがな 氏 名		生年月日	年 月 日生		
	住 所					
保 護 者	ふりがな 氏 名		続 柄		職 業	
	住 所					
理 由						
ケース概要等						
備 考						

第 号
〇〇年〇〇月〇〇日

愛媛県福祉総合支援センター
東予子ども・女性支援センター 所長 様
南予子ども・女性支援センター

〇〇市町長

要保護児童等の援助について（依頼）

当市町で所管中の下記のケースについて、援助を依頼します。

記

子 ど も	氏 名	(男・女)
	生年月日	H・S 年 月 日生 (歳)
	現住所	〒
援助依頼 内容		1. 助言（文書・電話・会議・その他） 2. 同行調査・訪問 3. 判定 4. その他
依頼理由		
添付資料		※ケース概要や対応経過のわかるものが必要
担当者		(電話)

（「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より）

第 号

〇〇年〇〇月〇〇日

愛媛県福祉総合支援センター
 東予子ども・女性支援センター 所長 様
 南予子ども・女性支援センター

〇 〇 市町長

児童相談所の対応について（通知）

下記のケースについて、以下のとおり児童相談所の対応が必要と認めますので通知します。

記

子 ど も	氏 名	(男・女)
	生年月日	H・S 年 月 日生 (歳)
	現住所	〒
保護者名		
内 容		1. 立入調査 2. 一時保護 3. その他 ()
理 由		
添付資料		有 (. . .) 無
担 当 者		(電話)

- ※ 添付資料がある場合は、資料名を記載
- ※ 要保護児童対策地域協議会における協議・決定を経た場合は、協議会長名による概要を添付

（「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より）

児 第 号
〇〇年〇〇月〇〇日

〇 〇 市 町 長 様

愛媛県福祉総合支援センター
東予子ども・女性支援センター 所長
南予子ども・女性支援センター

保育所、子育て短期支援事業、養育支援訪問事業等の利用通知書

下記児童について、以下の事業活用について配慮してください。

記

児 童	氏 名	(男・女)
	生年月日	H・S 年 月 日生 (歳)
	現住所	〒
保護者名		
内 容		1 保育所入所 2 子育て短期支援事業 3 養育支援訪問事業 4 その他 ()
理 由		
添付資料		有 無
担 当 者		(電話)

(「千葉県子ども虐待対応マニュアル」より)

番 号
平成 年 月 日

様

〇〇市町 要保護児童対策地域協議会会長名
(調整機関名：〇〇市町所属長) 印

下記の情報について、児童福祉法第25条の3の規定により、協力を依頼します。

記

子 ど も	ふりがな 氏 名	男・女	生年 月 日	年 月 日生 () 歳	
	住 所				
	就学状況	未就園・ () 保・幼・小・中・高 (年 組)			
保 護 者	氏 名	続柄 ()	生年 月 日	年 月 日生 () 歳	
	職 業				
	住所の状況	①独立家屋・集合住宅 ②鉄筋・木造			
虐待の状況等	(虐待の内容・部位・程度) ・誰から ・いつから ・どんなふうに(頻度) ・どのような(内容)				
依頼する援助 の内容	(例) 子どもの受診時におけるカルテ等の情報提供				
援助を依頼す る理由	(例) 保護者による虐待の疑いがあるため				
援助を依頼す る日時	平成 年 月 日 () 午前・午後 時頃				
その他					
担当者・連絡先	・ 担当者 ・ 連絡先				

「児童福祉法第25条の3の規定」の主旨

要保護児童対策地域協議会は、要保護児童もしくは要支援児童及びその保護者、特定妊婦に関して、適切な支援を図るために情報の交換及び協議を行うため必要があると認めるときは、関係機関等に対し、資料又は情報の提供、意見の開陳その他必要な協力を求めることができます。関係機関がこれに応じることは、法令に基づく正当な行為に当たり、守秘義務や個人情報保護に係る規定違反になりません。

(* 要対協設置要綱等を添付のこと)

(奈良県「市町村要保護児童対策地域協議会実務マニュアル」より)